

第6学年 総合的な学習授業案

令和4年6月28日(火) 第6時間目 体育館 授業者 辻 拓也

1 単元名

「ふるさと豊川に学ぶ ふれ合おう日本の歴史・文化」

2 単元の目標

- 課題解決のために、インターネットなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してプレゼンテーションソフトなどでまとめたりすることができる。(知識・技能)
- 調べたことや見学したことをもとに、平和の大切さについて、自分たちの生活と関連付けて自分の考えを適切に表現することができる。(思考・判断・表現)
- 豊川市の平和への取り組みに関心を持ち、学習を振り返ったり、見直したりして、課題を追究・解決しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

子どもの姿

- ・ 本学級の児童37名に本校の歴史や豊川市の平和都市宣言について質問したところ、誰一人として知っている子はいなかった。
- ・ 社会科での日本国憲法の学習では、くらしの中に平和主義の考え方が生かされていることを知り、戦争はただの昔話ではなく、平和であり続けるための努力や取り組みが必要であることを感じていた。

教材(単元)について

本校は、昭和22年4月、旧豊川海軍工廠施設部仮事務所(仮市役所庁舎)として設立された。豊川市は、東洋一と言われた海軍の主力生産工場であった豊川海軍工廠とともに発展した地域であり、終戦間際には2500人以上もの死者を出す空襲被害を受けた地域でもある。その後、豊川市は、戦後50周年の平成7年に平和都市宣言を行い、平成30年には戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的とした豊川海軍工廠平和公園が整備された。これらことから、本校にふさわしい探究課題として、「ふるさと豊川に学ぶ ふれ合おう日本の歴史・文化」と設定する。これからも平和であり続けるために、豊川市の過去・現在・未来をみつめ、自分たちにできることを考え、行動することを通して、主体的、協働的に探究し、よりよく課題を解決することができると考え、実践を行う。

笑顔をつくる+ONE

『平和と自分たちとのつながりを知り、主体的に取り組もうとする笑顔』

- I-① 市内博物館の戦時中の資料を提示し、自分たちと戦争とのつながりについて感じることで、できるよりに教材と出会わせる。
- I-② 地域の今と昔の航空写真を比べたり、豊川海軍工廠平和公園の見学をしたりして、豊川市の過去と現在をつなげる。
- I-③ 豊川海軍工廠平和公園で語り継ぎボランティアの方をゲストティーチャーとして活用し、戦時中の人々の生活について聞いたり、思いを伝えたりする。
- I-④ 今の平和を未来へとつなげていくために、学習したことを発表する場面を設定する。

『自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりして、学びを深める笑顔』

- II-① 平和学習を教科横断的な視点で展開することで、他教科での学びを活用したり、深めたりする場面を設定する。
- II-② 思考ツールを用いて、グループで情報を整理したり、比較したりする場面を設定する。

めざす子どもの姿

- ・ 自ら課題を見つけ、主体的・対話的に学びを深める子
- ・ 自分にできることを考え、一つの学習成果を他の学習に生かして行動しようとする子

4 単元構想

他教科との関連	学習活動	※教師の支援
<p>【社会】 「わたしたちの国から日本憲法」から、平和主義の考えから生かされていくことに気づかせる。</p> <p>【社会】 「長く続いた戦争と人々の暮らし」から、戦争時の人々の暮らしについて理解を深める。</p> <p>【社会】 「世界の未来と日本の役割」では、世界の中で日本の役割について知り、自分たちの関心につなげる。</p> <p>【道徳】 「エルツワール号一友好の始まり」から、他国の人々と支え合うことの大切さについて考える。</p> <p>【道徳】 「ヌチヌグスー」から、受け継がれていくの大切さについて考える。</p> <p>【音楽】 「いのちのまつり」など、平和に関する歌を聞いたり、歌ったりする。</p> <p>【特別活動】 「うたえ発表会(文化的行事)」で平和に関する歌を分るうちにもできる平和を広げる活動を行う。</p> <p>【国語】 「町の幸福論」を想起させ、聞き分けたり、上手に分かち伝えるよきなプレゼンテーションを行い、学びを深める。</p>	<p style="text-align: center;">豊川市の昔と今を考えよう</p> <p style="text-align: center;">戦時中の豊川市の様子について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○くらしの中の平和主義について考える① ・豊川市でも平和のための取り組みが行われているんだね ・ボランティアで伝える活動をしている人がいるよ ・豊川市では毎年、平和記念式典が行われているよ ○戦時中の豊川市の様子を調べる① ・豊川市にこれほど大きい爆弾が落とされたんだ ・なぜ、豊川市に激しい空襲があったのだから① ○戦前、戦後、現在の豊川市の写真を比べる① ・豊川市に兵器を作る場所があったんだね ・とても大きな施設で豊川海軍工廠というんだ ・中部小の場所は豊川海軍工廠にかかわる施設だったんだね ○豊川海軍工廠について調べる② ・豊川市に兵器を作る場所があるんだね ・どのような思いで働いていたのだろう ・戦時中はどのような生活をしていたのかな ○豊川海軍工廠平和公園を見学する③ ・改めて戦争の悲しさを感じた ・自分たちと同じ年の子ども大変な思いをしていたんだ ○豊川海軍工廠平和公園の見学のまとめをする③ ・見学を通して感じたことを伝えたいな ○戦争体験の話聞く② ・自分たちが見学して感じたことを伝えることができた ・改めて二度と戦争を繰り返してはいけないと思った ・自分たちにはできないことはないのかな <p style="text-align: center;">豊川市の平和な未来を考えよう</p> <p style="text-align: center;">自分たちにはできることを実践しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちにはできることを考える【本時 15/22】② ・豊川市の平和記念式典のような活動がしたいな ・豊川海軍工廠平和公園に掲示したい ・中小の伝統であるうたごえで平和を広げたい ・折り鶴を全校で作りたい④ ○発表会の準備を行う④ ・戦争の悲しさや平和の大切さを伝えたいな ・伝わるようなプレゼンテーション用の資料を作ろう ○発表会を行う① ・真剣に聞いてくれたよ ・平和の大切さが伝わってよかった ○活動を振り返る① ・発表会をしてよかったな ・これからも平和な豊川をつないでいきたい 	<p>※市内の博物館にある戦時中の道具や武器などの実物を見せることで、戦争の悲惨さや豊川市にも被害があったことに気づかせる。</p> <p>※ウェビングを用いることで平和についての考えを広げ、共有させる。</p> <p>※本校にある歴史パネルを用いて、学校の歴史と学習をつなげることとして捉えさせる。</p> <p>※Yチャートを用いて戦前・戦後・現在を整理すること、爆弾による豊川市の変容に気づかせる。</p> <p>※情報集め方を考えさせてから調べ学習の見通しをもった状態で本やインターネットを使用させる。</p> <p>※園内の豊川海軍工廠の建物や防空壕跡、戦争遺跡について学ぶ平和交流館などを、ガイドの方の説明を聞きながら見学する。</p> <p>※見学を通して感じた思いを伝えたり、戦争体験の話を書いたりすることで、これからの平和が続いてほしいという思いをもたせる。</p> <p>※Yチャートを用いて、伝えたい相手や何を伝えたいのかを明確にするための自分たちができるようなこと、できるのか考えさせる。</p> <p>※話し合いの際に KJ法を用いることで、考えを広げ、まとめさせる。</p> <p>※平和の大切さを伝えるためにタブレッションや動画を制作する。</p> <p>※発表会は自主的な運営を促し、主体的に活動させる。</p>

5 本時の計画

(1) 目標

- ・ 学習を振り返ったり、見直したりして、課題を追究・解決しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・ 調べたことや見学したことをもとに、平和のために自分たちに自分たちができることについて、何をどのように、伝えていくのか考えることができる。
(思考・判断・表現)

(2) 授業の視点

- ◎ 調べたことや見学したことから、自分たちにできることをすすんで考え、平和に対する思いをもつて平和への願いや表現方法を考えようとしていたか。

(3) 準備 タブレット、ワークシート、付箋、画用紙

(4) 過程

学 習 活 動

- ゲストティーチャーの方に聞いてもらった学習のまとめを発表し、今までの活動を振り返る。
 - ・ 戦争は多くの人にとって悲しいものであった
 - ・ これからも平和であってほしいな

平和のために自分たちにできることを考えよう

- 平和への願いを考え、班ごとに発表する。
 - ・ 豊川市でも戦争があったこと
 - ・ 子どもたちも戦争のために働いていたこと
 - ・ 戦争中の人々の思いについて伝えたい
 - ・ 見学で学んできたことを伝えたい
 - ・ ゲストティーチャーが教えてくれたことも伝えたい
 - ・ 私たちの平和への思いも聞いてほしい

- 平和への願いをどのように伝えるか考える。
 - ・ 5年生には、自分たちの発表を聞いてもらおう
 - ・ お家の人には、自分たちで話をする
 - ・ 中小の伝統であるうたごえで平和を広げたい
 - ・ 平和の折り鶴をつくる
 - ・ 豊川市の平和記念式典のような動画を作成する
 - ・ 国語で学んだポスター作りを生かして、学んだこととまとめ、豊川海軍工廠平和公園に掲示してもらおう
 - ・ 全ての活動を全員ではできないから、やりたいグループに分かれてやろう

- 振り返りする。
 - ・ 改めて平和の大切さを感じたので、5年生に自分たちで作ったプレゼンを聞いてもらいたい
 - ・ 豊川市の平和記念式典のような動画を作って、たくさんの人に見てもらいたい
 - ・ 友達の意見を聞いて、伝えたい内容ややりたいことが明確になった

※留意点 ◎+ONE ◎評価

- ※ これまでの平和学習を振り返ることと、学んできたことや平和の大切さを共有させる。
- ※ 伝えたい相手を想像させることで、平和への願いを考えたり、活動への思いをもたせたりする。
- ◎ KJ法を用いることで、考えを広げたり、まとめたりさせる。
- ※ 班ごとに1分以内で発表させることで、班ごとの意見を共有する。
- ◎ 平和に対する思いをもち、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いて考えを深めたりすることができたか。
(発言・ワークシート)
- ※ 事前に平和活動について調べさせることで、自分たちにできることのアイディアをもたせる。
- ※ アイディアを出し合うことで、平和への願いを伝えるために適切な方法を考えさせる。
- ※ 伝える方法だけでなく、誰がどのように行っていくのかの視点をもたせることで、具体的な活動方法を考えさせる。
- ※ 本時を振り返り、自分が伝えたい内容ややりたい活動を考えることで、今後の活動に見通しをもたせる。
- ◎ 平和のために自分たちにできることについて、何をどのように、伝えていくのか考えることができたか。
(発言・ワークシート)